

Ⅵ 生活や学習に関する調査の調査結果・分析等

分析ページの構成と見方について

1 「質問別回答結果及び教科に関する調査とのクロス集計結果の分析」について

- ・ 質問項目は、「学習に対する関心・意欲・態度」「学習時間等」「学校生活」「基本的生活習慣」「家庭でのコミュニケーション」「社会に対する興味・関心」「自尊意識」「規範意識等」「体験活動」の9領域に分類し、分析と考察、提言を行った。
- ・ 「生活や学習に関する調査」の質問項目の回答と「教科に関する調査」の正答率との相関を見るために、クロス集計を行った。
- ・ 教科に関する調査とのクロス集計結果の分析と考察では、小学校は2教科、中学校は5教科の合計の平均正答率を算出し、用いている。
- ・ クロス集計に関しては、必ずしも因果関係を示したものではないことに留意する。

2 「質問間におけるクロス集計結果の分析」について

- ・ 「生活や学習に関する調査」の質問項目の回答と他の質問項目間の相関を見るために、クロス集計を行った。
- ・ 「分析と考察」では、相関が顕著なものを取り上げて分析・考察した。
- ・ クロス集計に関しては、必ずしも因果関係を示したものではないことに留意する。

3 その他

- ・ 分析等では、小数第2位を四捨五入した調査結果を用いている。
- ・ 調査結果は、集計の都合上、各質問における有効回答数に基づいて算出したものである。
- ・ 「分析と考察」で用いている「平成18年度の調査」とは、平成18年10月26日～11月2日に実施した「さいたま市小・中学校意識・生活実態調査」をさしている。

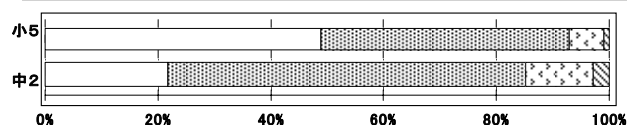
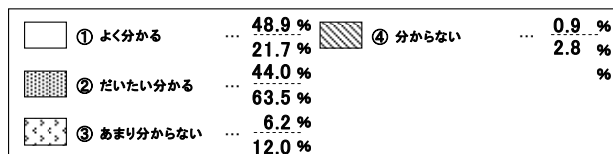
1 質問別回答結果及び教科に関する調査とのクロス集計結果の分析

学習に対する関心・意欲・態度

質問別回答結果

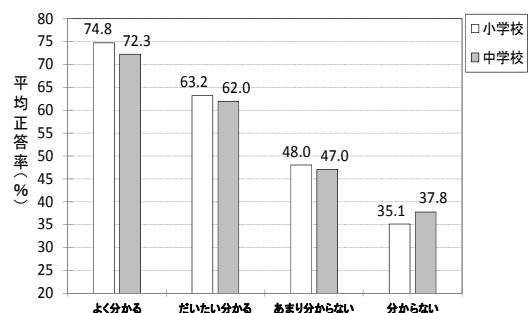
(35) 学校の授業の内容は、よく分かりますか。

上段：小5
下段：中2



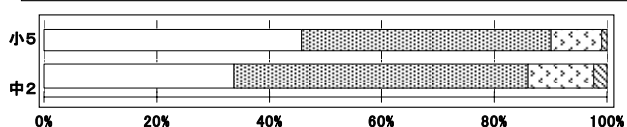
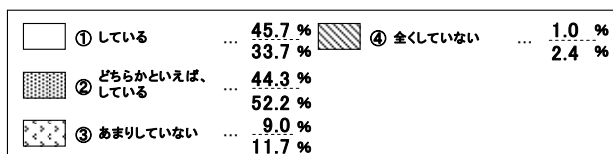
教科に関する調査とのクロス集計結果

(35) 学校の授業の内容は、よく分かりますか。

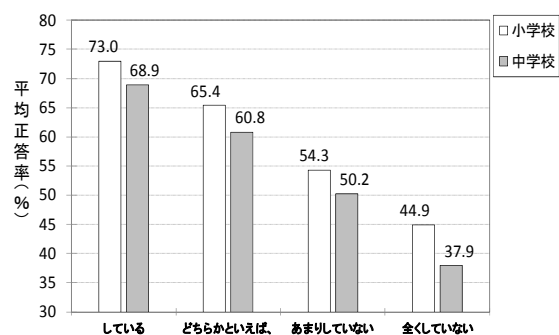


(36) 授業中は、進んで学習に取り組んでいますか。

上段：小5
下段：中2

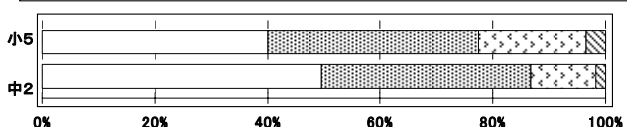
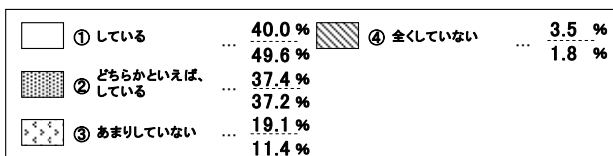


(36) 授業中は、進んで学習に取り組んでいますか。

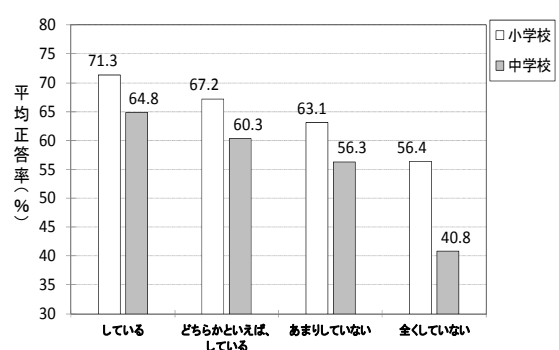


(37) 授業では、ノートを丁寧に書いていますか。

上段：小5
下段：中2

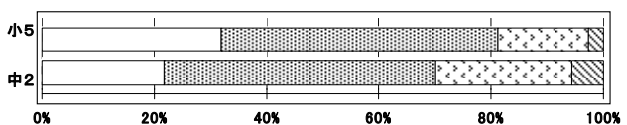
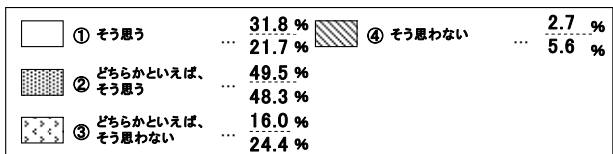


(37) 授業では、ノートを丁寧に書いていますか。

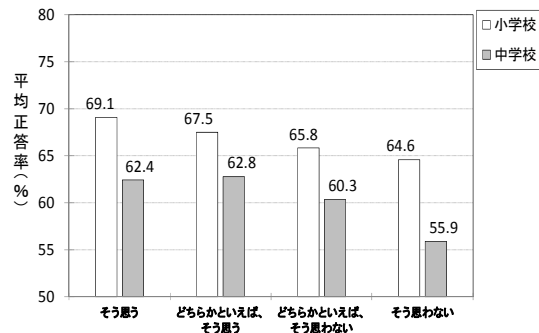


(38) 普段の授業では、学級の友達とで話し合う活動をよく行っていると思いますか。

上段：小5
下段：中2



(38) 普段の授業では、学級の友達とで話し合う活動をよく行っていると思いますか。

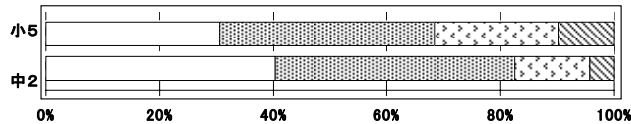
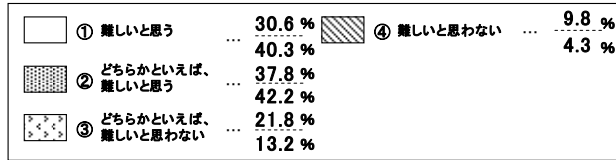


学習に対する関心・意欲・態度

質問別回答結果

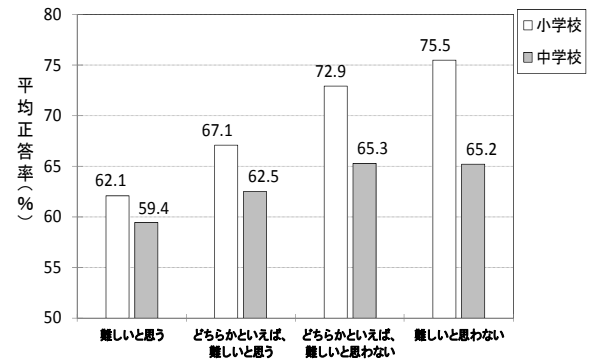
(39) 学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか。

上段：小5
下段：中2



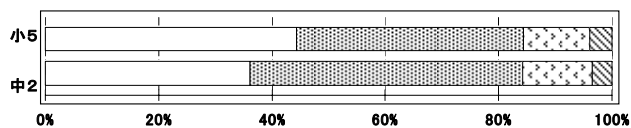
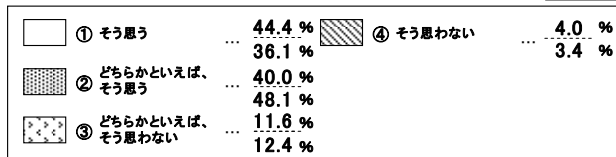
教科に関する調査とのクロス集計結果

(39) 学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか。

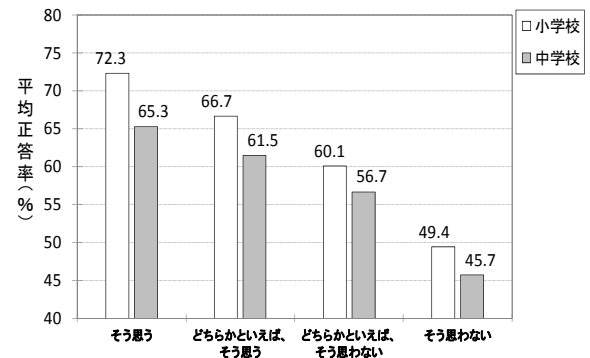


(40) 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。

上段：小5
下段：中2

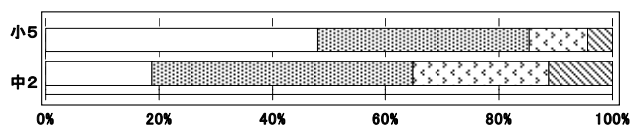
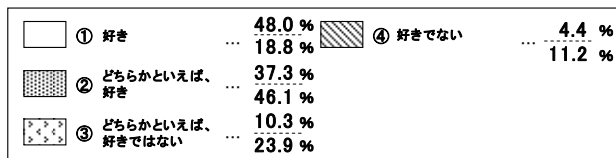


(40) 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。

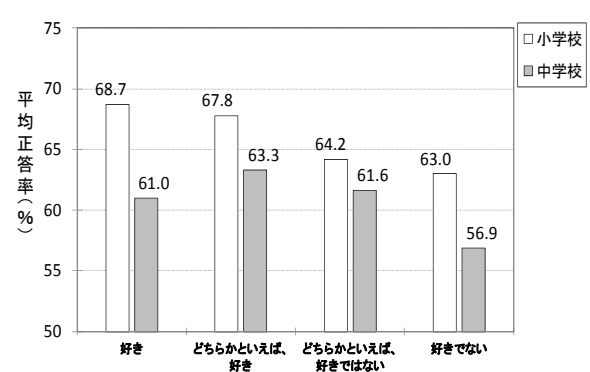


(41) 「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか。

上段：小5
下段：中2

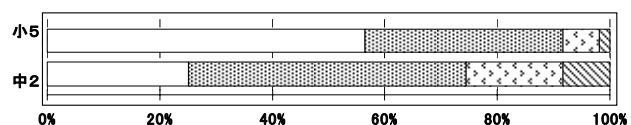
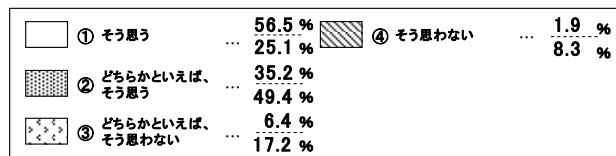


(41) 「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか。

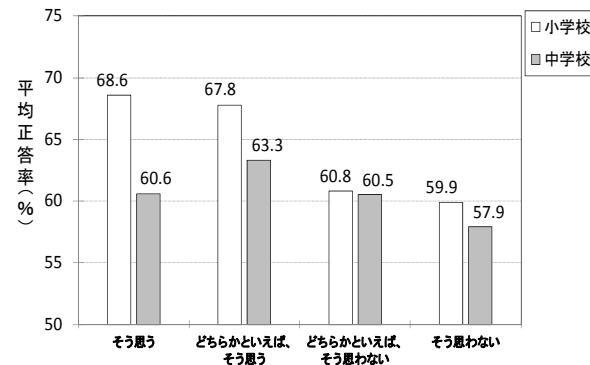


(42) 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか。

上段：小5
下段：中2



(42) 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか。



分析と考察

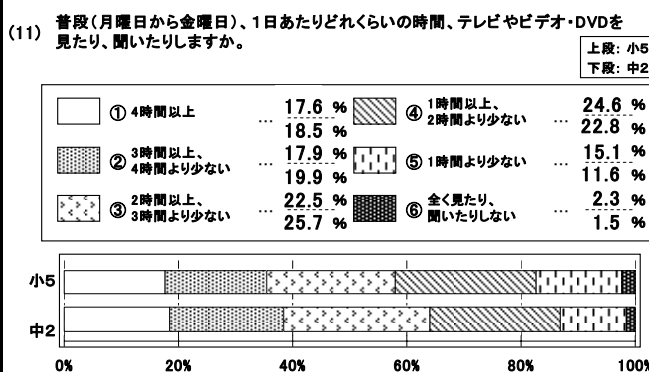
- 質問(35)では、学校の授業の内容について、小5では92.9%の児童が、中2では85.2%の生徒が「よく分かる」「だいたいよく分かる」と回答している。これは平成18年度の調査と比較すると、小5では1.8ポイント、中2では8.9ポイント高くなっている。「よく分かる」に着目して見ると、小5では48.9%であるのに対し、中2では21.7%と割合が低くなっている。
- 質問(36)では、学校の授業に進んで取り組んでいることについて、小5では90.0%の児童が、中2では85.9%の生徒が「している」「どちらかといえば、している」と回答している。平成18年度の調査と比較すると、小5では12.4ポイント、中2では16.9ポイント高くなっている。質問(35)(36)の結果は、平成18年度の調査の提言である「どの子にも分かる授業・楽しい授業の実践」「子どもが先生や友だちから認められたと実感できる評価の工夫」の成果と考えられる。
- 質問(37)では、授業中のノートを丁寧に書いていることについて、小5では77.4%の児童が、中2では86.8%の生徒が「している」「どちらかといえば、している」と回答しており、中学校の方が約10ポイント高くなっている。また、教科に関する調査とのクロス集計結果を見ると、「している」と回答した児童生徒ほど平均正答率が高くなっている。
- 質問(40)では、普段の授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていることについて、小5では84.4%の児童が、中2では84.2%の生徒が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答しており、小中で差はない。教科に関する調査とのクロス集計結果を見ると、小5で「そう思う」と回答した児童の平均正答率は72.3%、中2で「そう思う」と回答した生徒の平均正答率は65.3%であり、「そう思わない」と回答した児童生徒の平均正答率をそれぞれ約20ポイント上回っている。

提 言

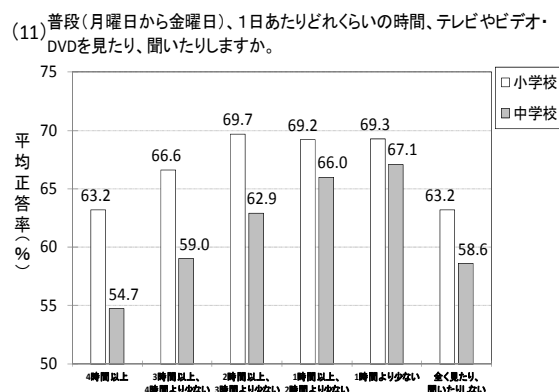
- ・今後も、児童生徒が授業に進んで取り組み、内容も理解できるように、学習指導方法の工夫・改善を図り、分かる授業の実践に取り組むことが大切である。
- ・自らの考えを発表する場面を与え、その考えや取組が認められたと実感でき、自信につながる評価の工夫が大切である。
- ・ノートを丁寧に書くことは、学習の定着にかかわりがあると考えられるため、小学校段階から、発達段階に応じたノート指導を大切にしていける必要がある。

学習時間等

質問別回答結果



教科に関する調査とのクロス集計結果

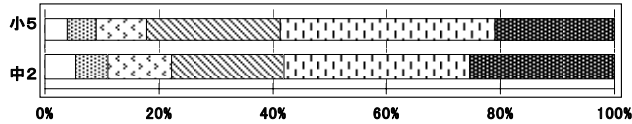
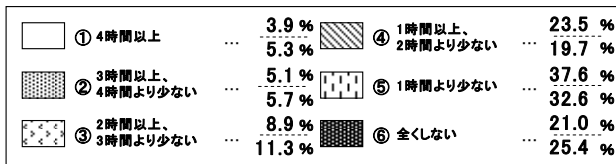


学習時間等

質問別回答結果

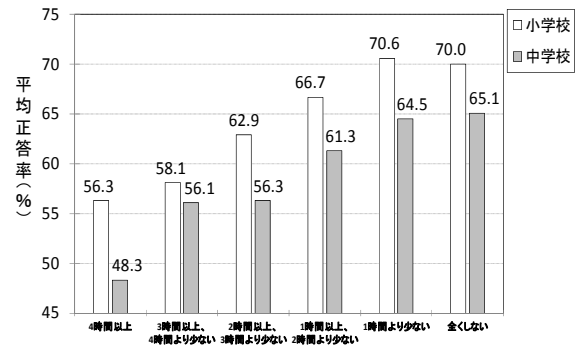
(12) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

上段: 小5
下段: 中2



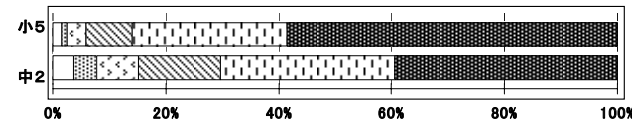
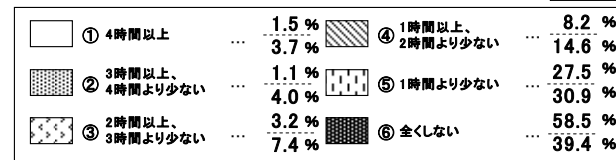
教科に関する調査とのクロス集計結果

(12) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

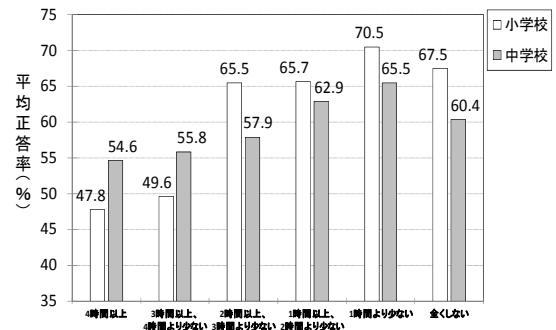


(13) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、インターネットをしますか。

上段: 小5
下段: 中2

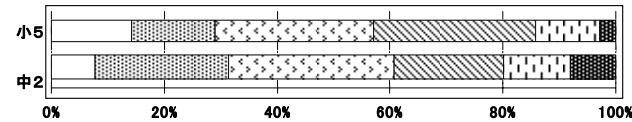
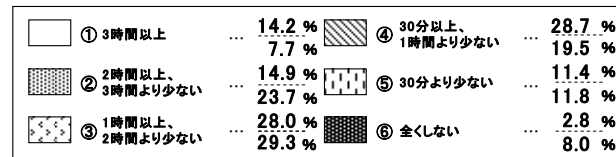


(13) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、インターネットをしますか。

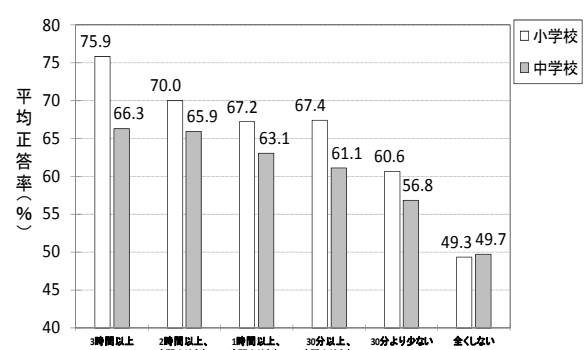


(14) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

上段: 小5
下段: 中2

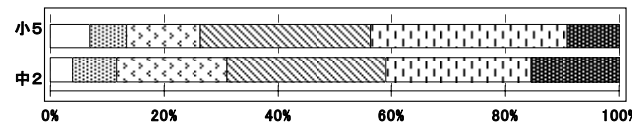
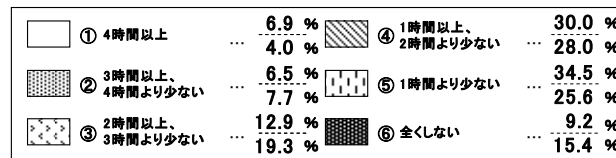


(14) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

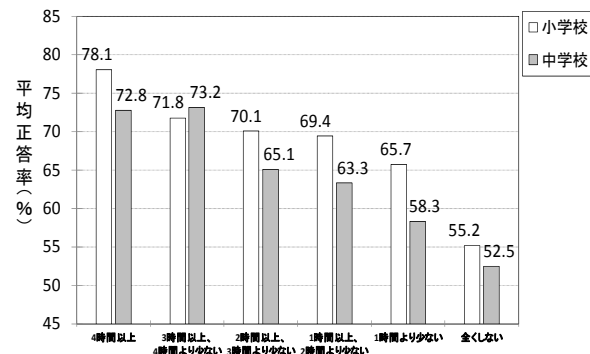


(15) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどのくらいの時間、勉強をしますか。

上段: 小5
下段: 中2



(15) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどのくらいの時間、勉強をしますか。

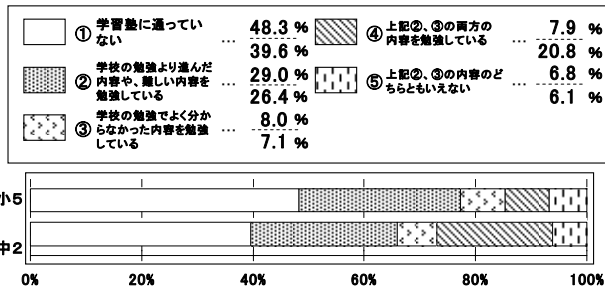


学習時間等

質問別回答結果

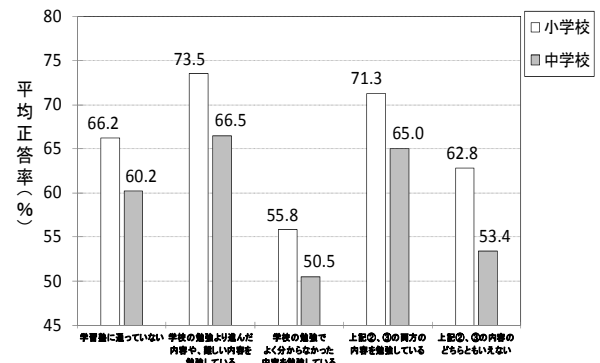
(16) 学習塾で勉強をしていますか。

上段：小5
下段：中2



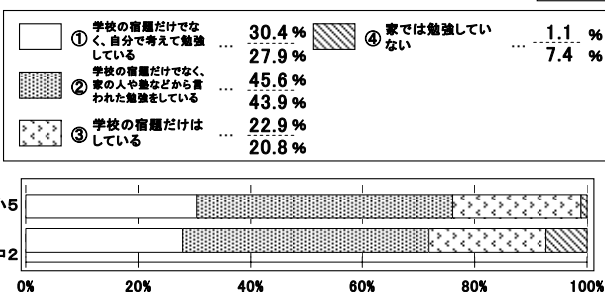
教科に関する調査とのクロス集計結果

(16)学習塾で勉強をしていますか。

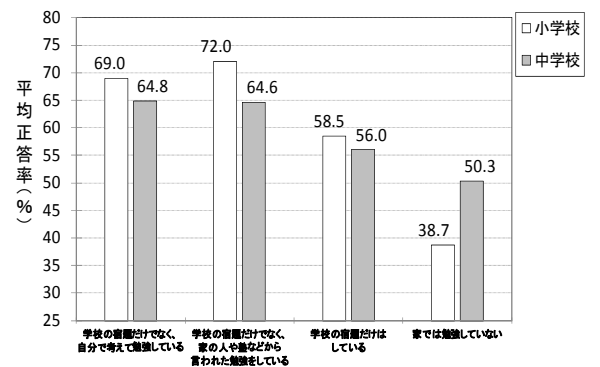


(17) 普段(月曜日から金曜日)、家でどのような勉強をしていますか。

上段：小5
下段：中2

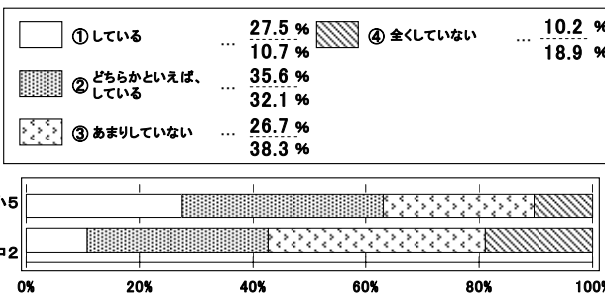


(17)普段(月曜日から金曜日)、家でどのような勉強をしていますか。

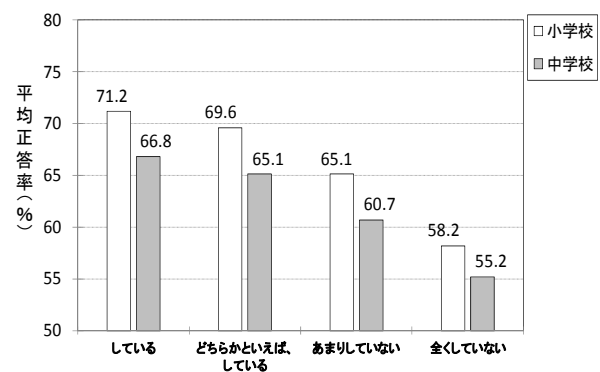


(18) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

上段：小5
下段：中2



(18)家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

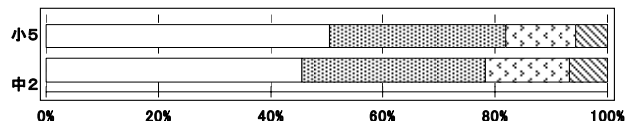
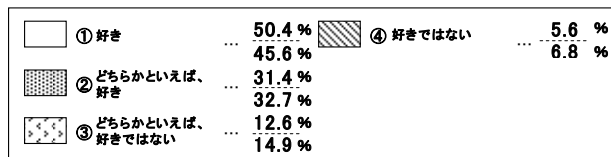


学習時間等

質問別回答結果

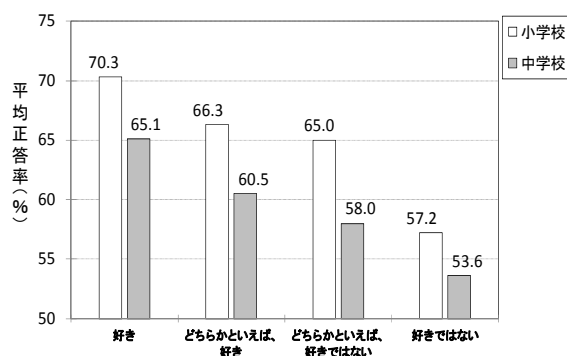
(19) 読書は好きですか。

上段：小5
下段：中2



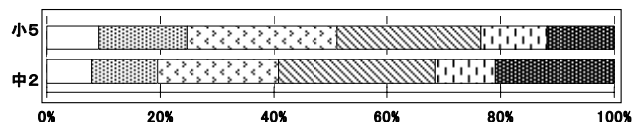
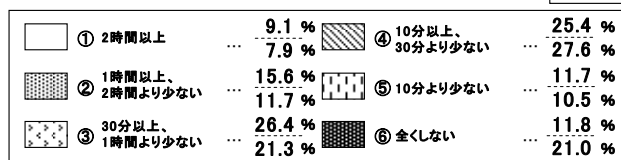
教科に関する調査とのクロス集計結果

(19) 読書は好きですか。

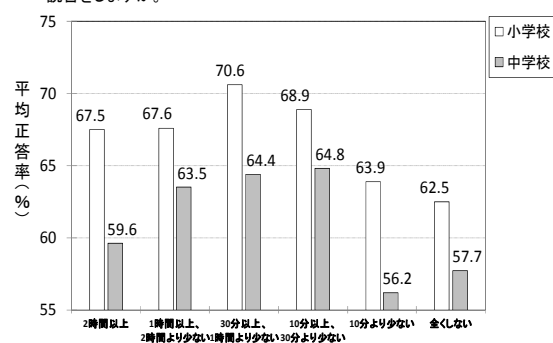


(20) 家や図書館で、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書しますか。

上段：小5
下段：中2

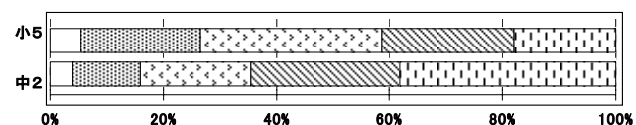
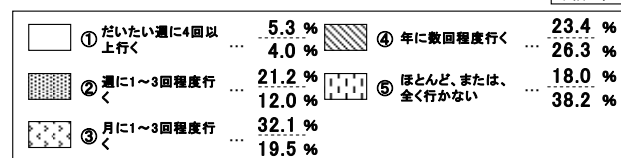


(20) 家や図書館で、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書しますか。

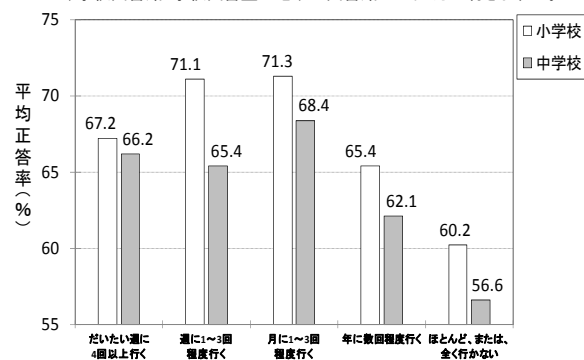


(21) 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。

上段：小5
下段：中2



(21) 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。



分析と考察

- 質問(12)では、平日に家でテレビゲームをする時間について、「1時間より少ない」「全くしない」と回答した児童生徒は、小5で58.6%、中2で58.0%であった。教科に関する調査とのクロス集計結果を見ると、小5、中2ともにこの回答をした児童生徒の平均正答率は高い割合を示した。また、質問(13)では、平日に家でインターネットを利用する時間について、同様に「1時間より少ない」「全くしない」と回答した児童生徒は、小5で86.0%、中2で70.3%であった。平均正答率も小5、中2ともに高い割合を示している。中2の方が、インターネットをする時間が長いのは、コンピュータの操作方法や多様な利用方法を身に付けているからであると考えられる。質問(12)(13)から、テレビゲームやインターネットをする時間が少ないと、平均正答率が高いことが分かる。
- 質問(17)では、平日の家での勉強について、「宿題だけでなく自分で考えて勉強している」と回答した児童生徒は、小5で30.4%、中2では27.9%であった。平成18年度の調査では、小5が23.9%、中2が17.0%であったことから、小5で6.5ポイント、中2で10.9ポイント高くなっている。また、「家では勉強していない」と回答した児童生徒は、小5で0.9ポイント、中2では7.2ポイントも低くなっている。
- 質問(19)では、読書について、小5や中2ともに「好き」と回答した児童生徒の平均正答率は、「好きではない」と回答した児童生徒の平均正答率より10ポイント以上高くなっている。

提 言

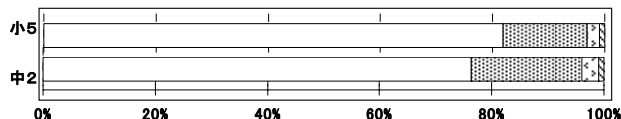
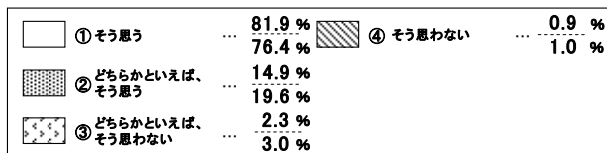
- ・コンピュータや携帯電話の普及に伴い、利用方法が多様化する中、子どもたちのテレビゲームやインターネットの利用の仕方については、学校・家庭・地域が連携しながら、ある程度統一した見解をもってルール等を教えていくことが必要である。教科に関する調査とのクロス集計結果を見ると、インターネットやテレビゲームをする時間が「1時間程度」と回答している児童生徒の平均正答率が高い傾向にあることから、家庭での利用時間の約束をする際は、「1時間程度」を目安として考えてよいだろう。
- ・「学びの向上さいたまプラン」では、家庭に対し、「家庭学習（宿題など）の時間をつくりましょう」「一緒に本や新聞を読みましょう」と子どもの学びの時間をつくることを呼びかけている。そこで、宿題に限らず、家庭での読書や学習について、自分で計画を立てたり、必要に応じて周りの人のアドバイスを受け入れたりしながら、取り組むように啓発していく必要がある。

学校生活

質問別回答結果

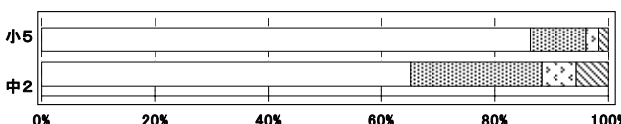
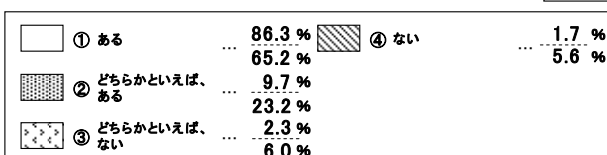
(31) 学校で友達に会うのは楽しいと思いますか。

上段：小5
下段：中2



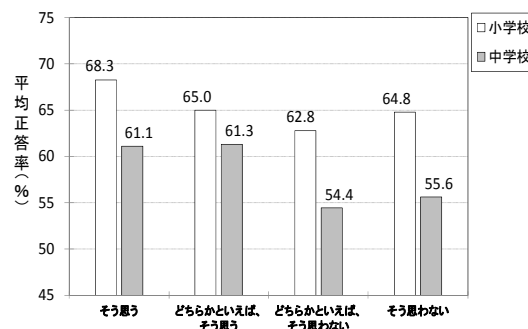
(34) 学校で好きな授業がありますか。

上段：小5
下段：中2

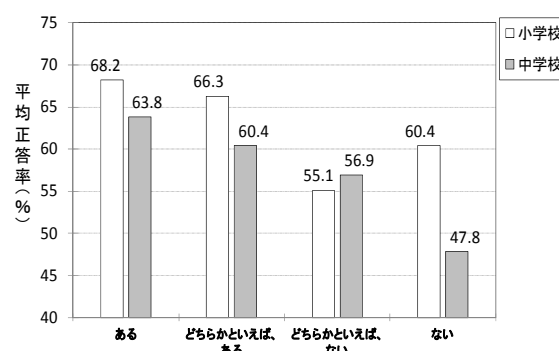


教科に関する調査とのクロス集計結果

(31) 学校で友達に会うのは楽しいと思いますか。



(34) 学校で好きな授業がありますか。



分析と考察

- 質問(31)では、学校で友だちに会うのは楽しいと思うことについて、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した児童生徒は、小5で96.8%、中2で96.0%となっている。
- 質問(34)では、学校で好きな授業があることについて、「ある」「どちらかといえば、ある」と回答した児童生徒は、小5で96.0%、中2で88.4%となっている。
- 質問(31)「学校で友だちに会うのは楽しいと思いますか」と質問(34)「学校で好きな授業はありますか」のクロス集計の結果では、「友だちに会うのは楽しい」と回答した児童生徒の81.0%が好きな授業があると回答しているのに対し、「友だちに会うのが楽しくない」と回答した児童生徒の48.5%が好きな授業があると回答している。このことから、友人関係を中心とした生活環境が学習意欲に影響すると考えられる。

提言

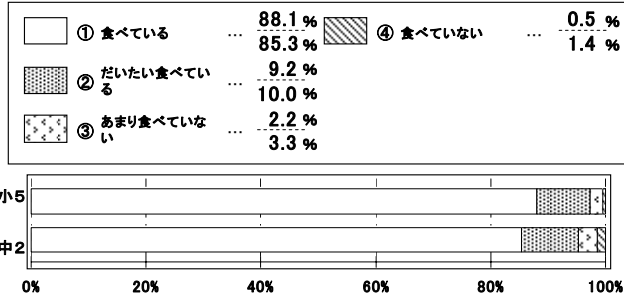
- ・児童生徒が意欲的に学習に取り組めるようにするには、学習環境と生活環境を共に整えることが大切である。具体的には、児童生徒が互いによいところをほめ合い、認め合える場を設定すること、自分が学級で役に立っているという実感(自己有用感)がもてる活躍の場を設定すること、互いに助け合えるような学習形態などの工夫をすること等が考えられる。
- ・個々の得意なこと、好きなことを把握し、児童生徒の得意分野を伸ばせるよう、自由研究・学習発表会・選択教科などに取り組む機会や活躍する場面の設定をする。また、自分の好きなことが見付けられない児童生徒には、仲間と一緒に活動することで、成功体験を共にし、学習を通して楽しかった、うれしかった経験を積み重ねていけるように配慮することが大切である。

基本的生活習慣

質問別回答結果

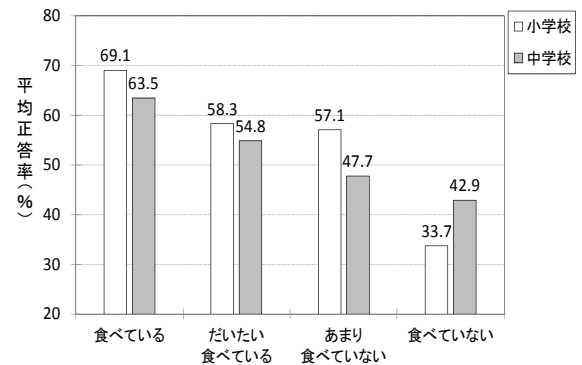
(1) 朝食を毎日食べていますか。

上段：小5
下段：中2



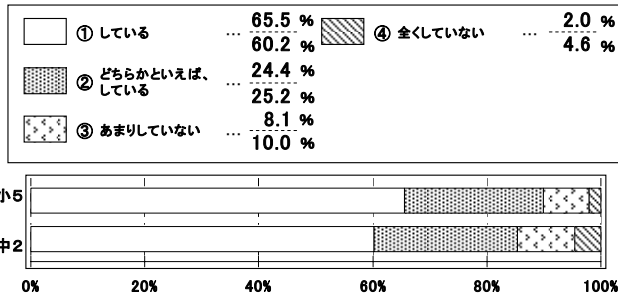
教科に関する調査とのクロス集計結果

(1) 朝食を毎日食べていますか。

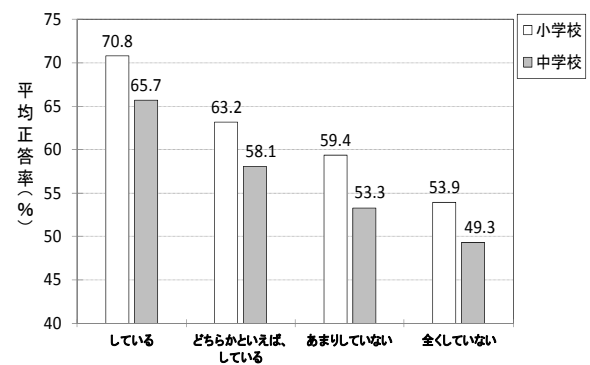


(4) 学校にもって行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか。

上段：小5
下段：中2

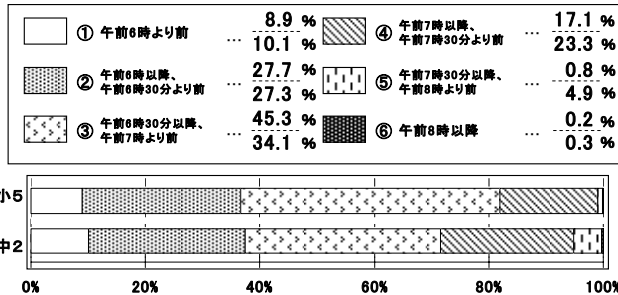


(4) 学校にもって行くものを、前日か、その日の前に確かめていますか。

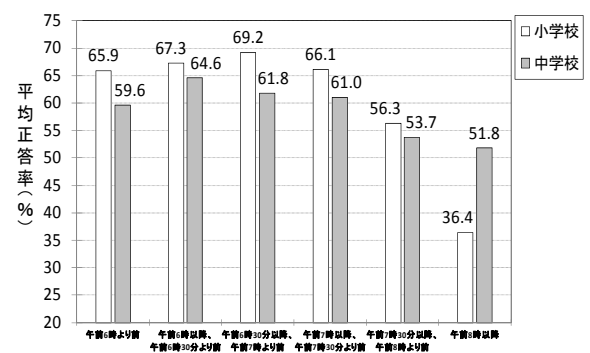


(5) 普段(月曜日から金曜日)、何時ごろに起きますか。

上段：小5
下段：中2

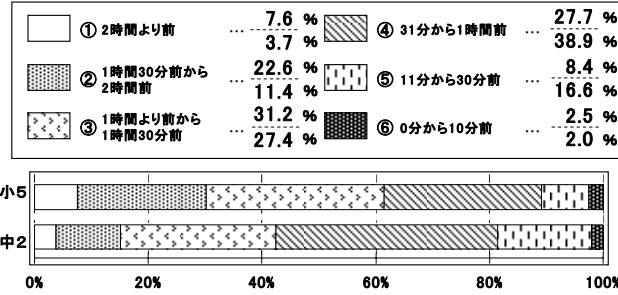


(5) 普段(月曜日から金曜日)、何時ごろに起きますか。

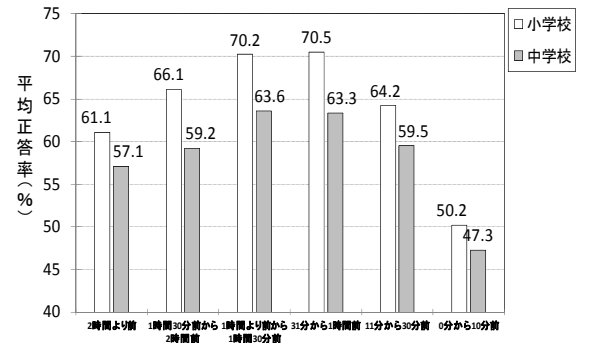


(6) 普段(月曜日から金曜日)、学校に行くために、家を出発する何時間前に起きますか。

上段：小5
下段：中2



(6) 普段(月曜日から金曜日)、学校に行くために、家を出発する何時間前に起きますか。

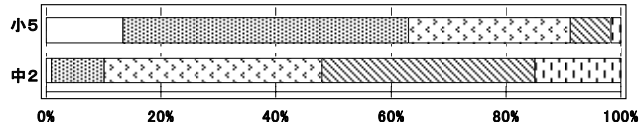
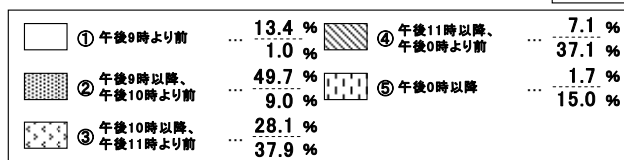


基本的生活習慣

質問別回答結果

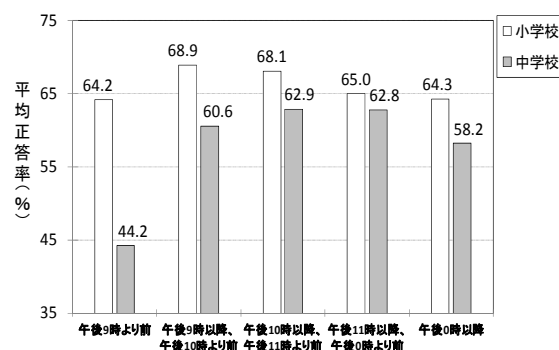
(7) 普段(月曜日から金曜日)、何時ごろに寝ますか。

上段: 小5
下段: 中2



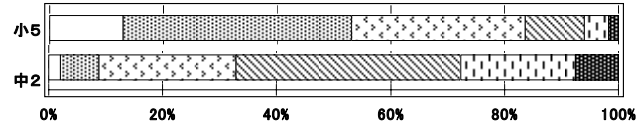
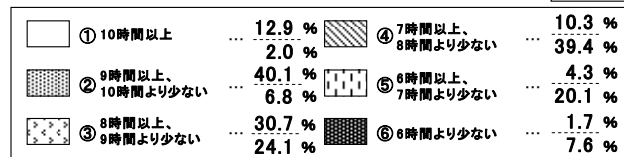
教科に関する調査とのクロス集計結果

(7) 普段(月曜日から金曜日)、何時ごろに寝ますか。

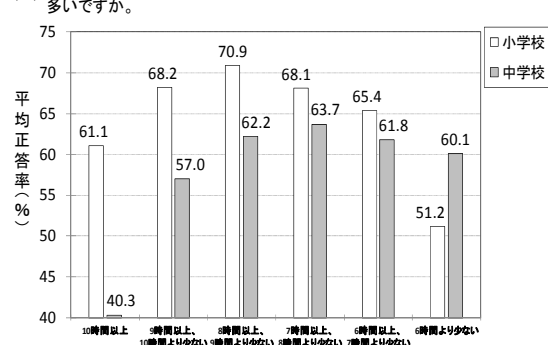


(8) 普段(月曜日から金曜日)、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。

上段: 小5
下段: 中2



(8) 普段(月曜日から金曜日)、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。



分析と考察

○質問(1)では、朝食を毎日食べていることについて、小5では 88.1%の児童が、中2では 85.3%の生徒が「食べている」と回答している。平成 18 年度の調査と比べると、「食べている」と回答した児童生徒が小5で 0.9 ポイント、中2で 7.7 ポイント増加した。また、教科に関する調査とのクロス集計結果を見ると、小5では「毎日食べている」と回答した児童の平均正答率は 69.1%、中2の生徒では 63.5%であり、「食べていない」と回答した児童生徒よりそれぞれ小5で 35.4 ポイント、中2で 20.6 ポイント高い。このことから、朝食を毎日食べる児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。

○質問(7)では、平日における就寝時刻について、小5では 91.2%の児童が、中2では 47.9%の生徒が「午後 11 時までに寝る」と回答している。平成 18 年度の調査と比べると、小5で 0.3 ポイント、中2で 9.4 ポイント増加した。また、質問(5)の平日における起床時刻について、小5では 45.3%の児童が、中2では 34.1%の生徒が「午前 6 時 30 分から 7 時まで」に起きると回答し、最も割合が高い。午前 6 時 30 分より前に起きる児童生徒を合わせると、小5では 81.9%の児童が、中2では 71.5%が「午前 7 時まで」に起きることになり、平成 18 年度の調査との差はほとんどない。就寝時刻は中学生では早くなっているが、起床時刻は小学生、中学生ともにほぼ変化はない。

提言

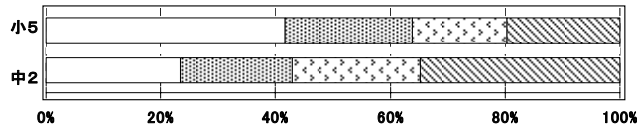
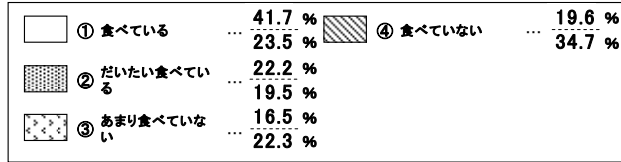
- ・今後も心身の健康や食に関する指導等の充実を図り、学習したことを自ら実践する力を育成することが大切である。「学びの向上さいたまプラン」では「早寝 早起 朝ごはん」を大切にするよう呼びかけている。今後も家庭に啓発していくことが必要である。

家庭でのコミュニケーション

質問別回答結果

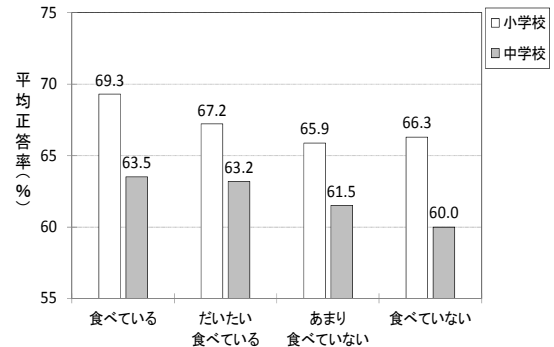
(2) 家の人(兄弟姉妹は含みません。)と普段(月曜日から金曜日)、朝食と一緒に食べていますか。

上段: 小5
下段: 中2



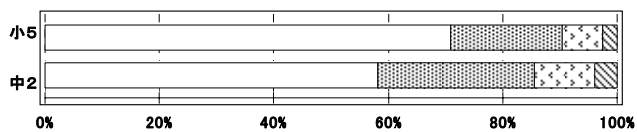
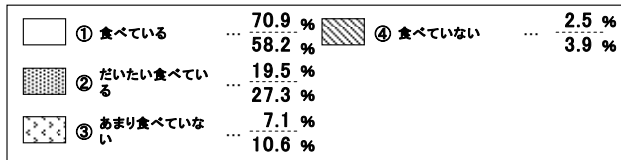
教科に関する調査とのクロス集計結果

(2) 家の人(兄弟姉妹は含みません。)と普段(月曜日から金曜日)、朝食と一緒に食べていますか。

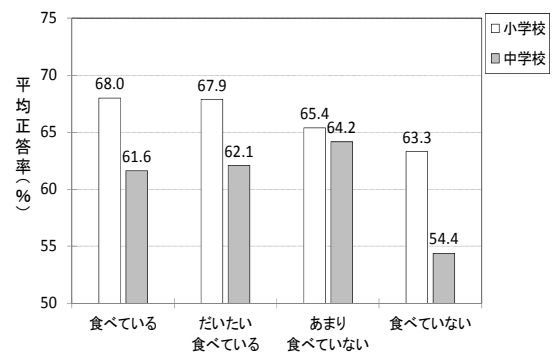


(3) 家の人(兄弟姉妹は含みません。)と普段(月曜日から金曜日)、夕食と一緒に食べていますか。

上段: 小5
下段: 中2

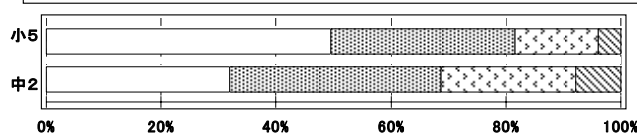
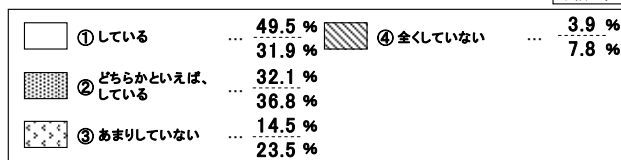


(3) 家の人(兄弟姉妹は含みません。)と普段(月曜日から金曜日)、夕食と一緒に食べていますか。

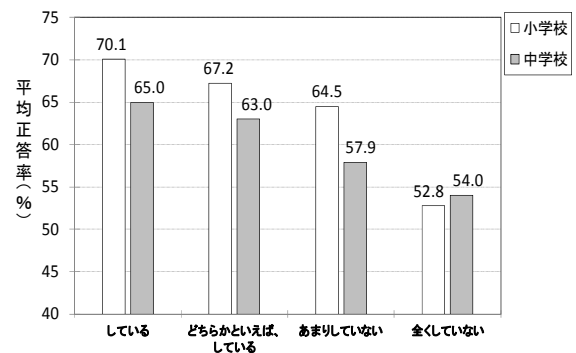


(9) 家の人(兄弟姉妹は含みません。)と学校での出来事について話をしていますか。

上段: 小5
下段: 中2

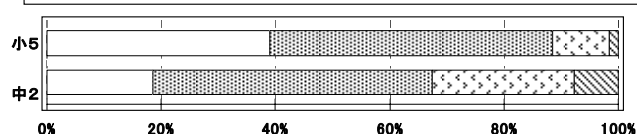
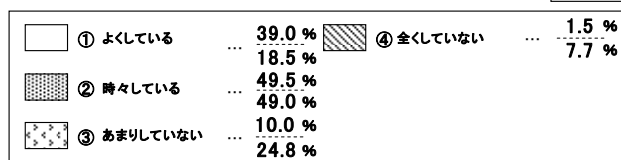


(9) 家の人(兄弟姉妹は含みません。)と学校での出来事について話をしていますか。

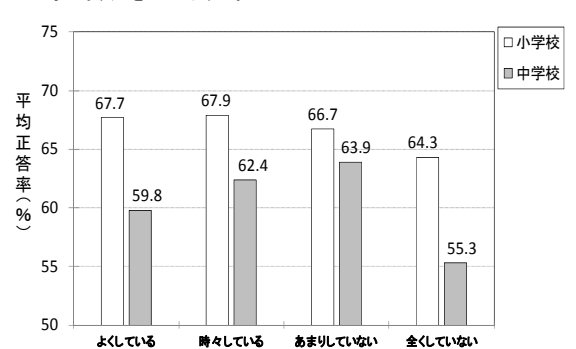


(10) 家の手伝いをしていますか。

上段: 小5
下段: 中2



(10) 家の手伝いをしていますか。



分析と考察

- 質問(2)では、平日に朝食を家族と一緒に食べていることについて、「食べている」「だいたい食べている」と回答した児童生徒が、小5で63.9%、中2で43.0%であり、約21ポイントの差であった。
- 質問(3)では、平日に夕食を家族と一緒に食べていることについて、「食べている」「だいたい食べている」と回答した児童生徒が、小5で90.4%、中2で85.5%であり、約5ポイントの差であった。
- 質問(9)では、家で学校での出来事を話すことについて、「している」「どちらかといえば、している」と回答した児童生徒が、小5で81.6%、中2で68.7%であった。成長の段階による差が要因となっていると考えられる。また、「している」と「全くしていない」とそれぞれ回答した児童生徒の平均正答率の差が、小5で17.3ポイント、中2で11.0ポイントであり、領域内における他の質問(2)(3)(10)と比較して著しく大きい。そのことから、家族との会話を行うことが、学習面により影響を与えと考えられる。
- 質問(10)では、家での手伝いについて、「よくしている」「時々している」と回答した児童生徒が、小5で88.5%、中2で67.5%であった。中学生になると、家庭での生活のリズムや役割が変化することが主な要因であると考えられる。

提 言

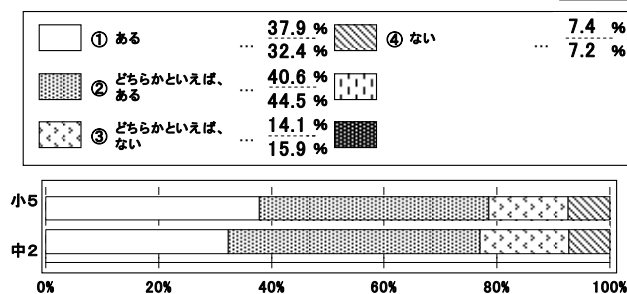
- ・「すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上キャンペーン」では、「今 大切なのは 家族で 元気・学び・会話」をキャッチフレーズに親子の会話を重視している。そこで、親子でかかわれるような宿題を出す、親子レクなどで家庭でもできる活動を紹介する、保護者参加型の授業参観・学校行事を行う等、親子が同じ体験をし、家庭での話題を共有できるようにする。
- ・学年が進むにつれ、親子のコミュニケーションが減少していくのは、ある意味では自然な発達段階である。学校公開日、学校保健委員会、成人教育の講演会等で、子どもの体や心の成長について保護者が学べる機会や懇談会で保護者どうしが子育てについて情報交換する機会を設け、保護者が問題を一人で抱え込まない環境を学校・地域が協力して作っていく必要がある。

社会に対する興味・関心

質問別回答結果

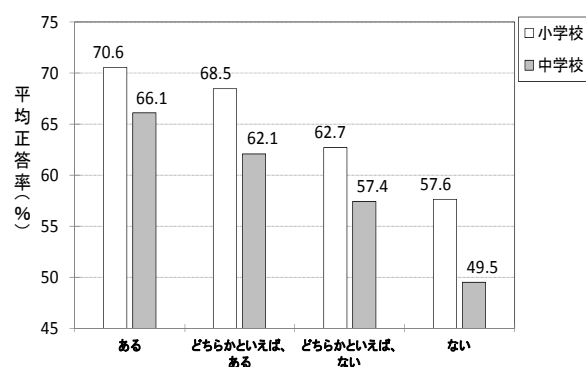
(45) 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。

上段: 小5
下段: 中2



教科に関する調査とのクロス集計結果

(45) 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。

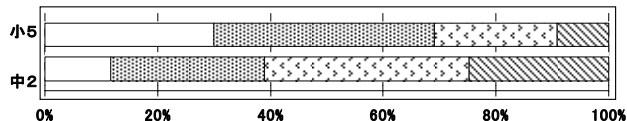
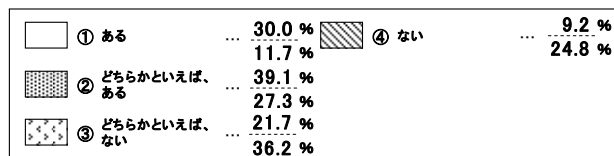


社会に対する興味・関心

質問別回答結果

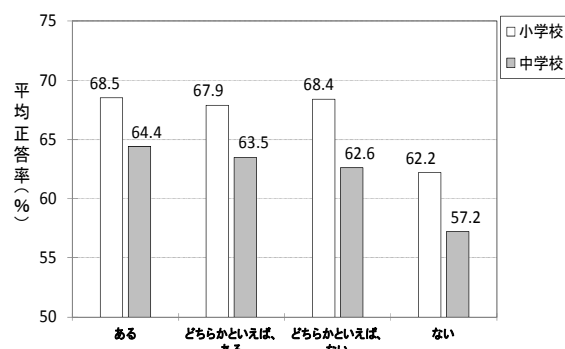
(46) 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか。

上段：小5
下段：中2



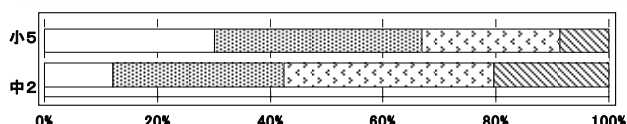
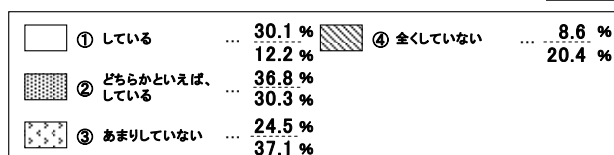
教科に関する調査とのクロス集計結果

(46) 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか。

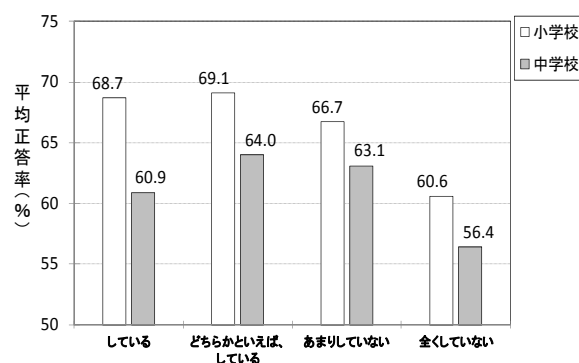


(47) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

上段：小5
下段：中2



(47) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



分析と考察

- 質問(45)では、新聞やテレビのニュースなどに関心が「ある」と「どちらかといえばある」と回答した児童生徒は、小5で78.5%、中2で76.9%となり、どちらも全体の4分の3以上の子どもたちが関心を示している。教科に関する調査とのクロス集計結果を見ると、関心が「ない」と回答した児童生徒と比べて「ある」と回答した児童生徒は、小5で13.0ポイント、中2で16.6ポイント高くなっている。教科別の結果では、中学校社会科において最も差が大きかった。
- 質問(46)では、地域の歴史や自然に関心が「ある」「どちらかといえば、ある」と回答した児童生徒は、小5で69.1%、中2で39.0%である。また、質問(47)では、地域の行事への参加について、「している」「どちらかといえば、している」と回答した児童生徒は、小5で66.9%、中2で42.5%となっている。小学生は、全体の3分の2が自分たちの身近な地域への関心をもっているが、中学生の関心は低い傾向にある。また、地域の歴史や自然に関心が「ない」、地域の行事への参加について「全くしていない」と回答した児童生徒の平均正答率は、他と比べて低くなっている。

提言

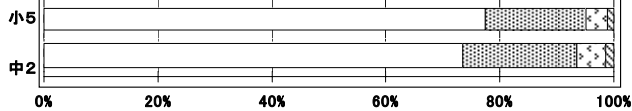
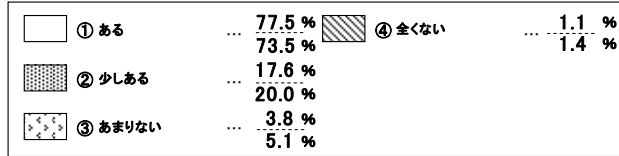
- ・その時々ニュースや出来事的话题を授業などに積極的に取り入れ、児童生徒の興味・関心を高めることができるように働き掛けていくことが大切である。
- ・地域の人材や学習環境等を活用した取組を計画し、実践していくことにより、自分が住む地域への興味・関心を高めていくことが大切である。

自尊意識

質問別回答結果

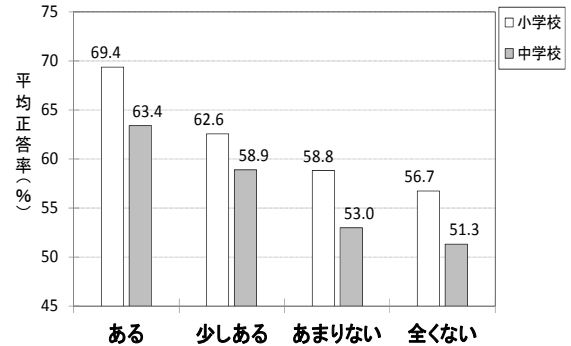
(22) ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

上段：小5
下段：中2



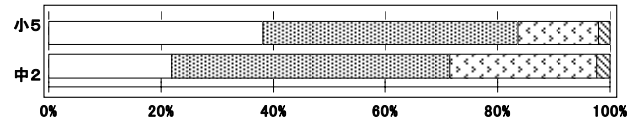
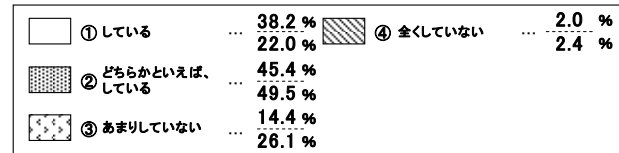
教科に関する調査とのクロス集計結果

(22) ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

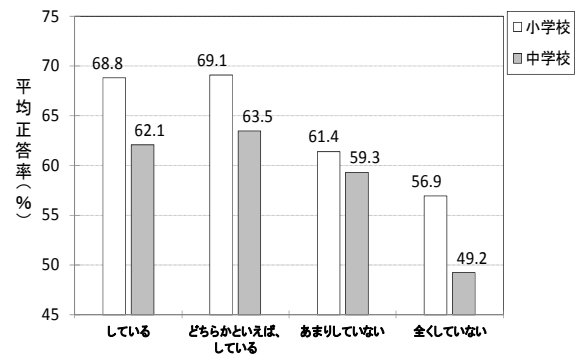


(23) 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。

上段：小5
下段：中2

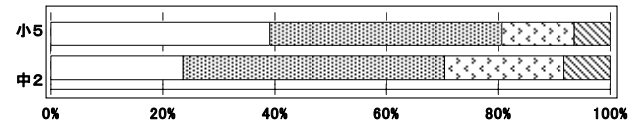
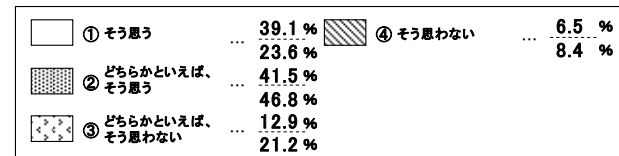


(23) 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。

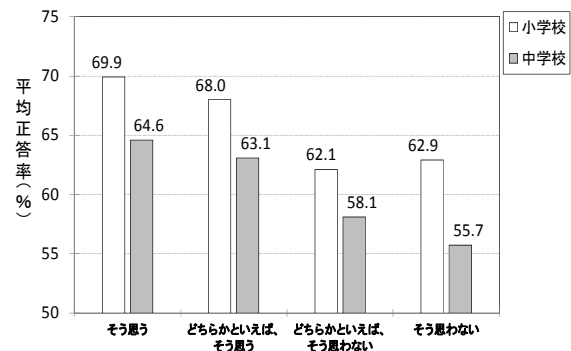


(24) 自分には、よいところがあると思いますか。

上段：小5
下段：中2

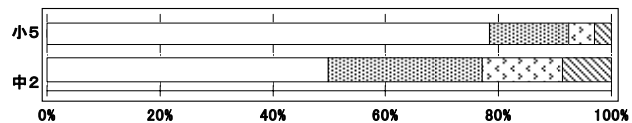
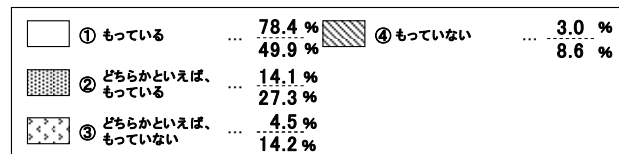


(24) 自分には、よいところがあると思いますか。

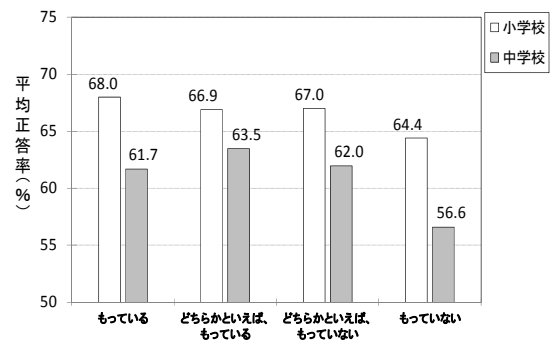


(25) 将来の夢や目標をもっていますか。

上段：小5
下段：中2



(25) 将来の夢や目標をもっていますか。

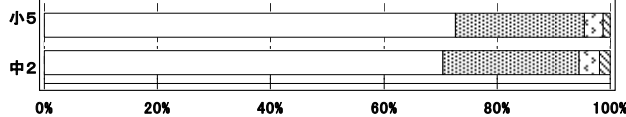
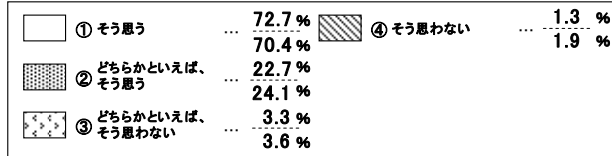


自尊意識

質問別回答結果

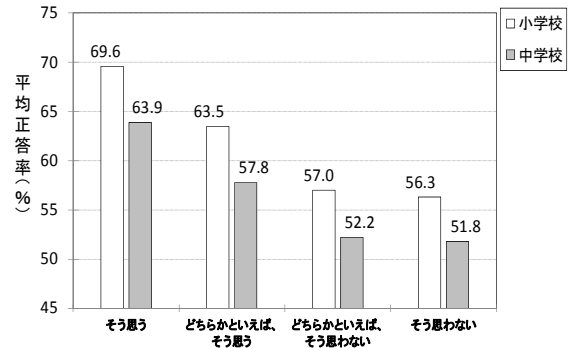
(28) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

上段：小5
下段：中2



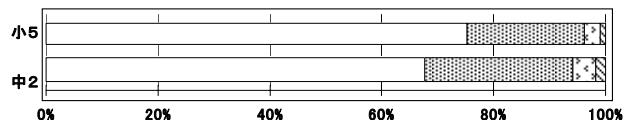
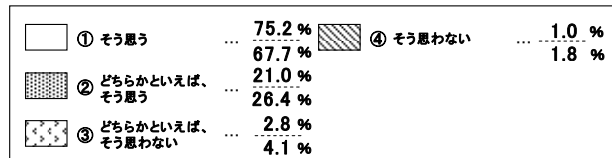
教科に関する調査とのクロス集計結果

(28) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

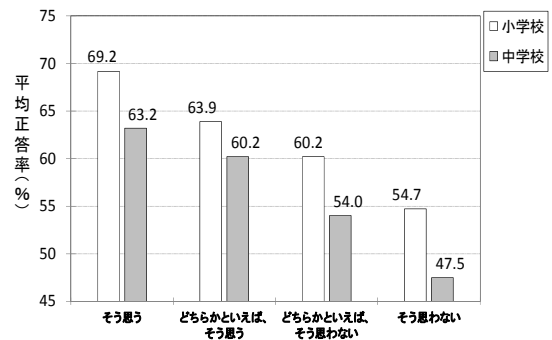


(30) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

上段：小5
下段：中2



(30) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



分析と考察

- 質問(22)では、ものごとを最後までやりとげてうれしかったことについて、「ある」「少しある」と回答した児童生徒は、小5で 95.1%、中2で 93.5%であった。小中のどちらにおいても、ほとんどの児童生徒が達成感を味わうことができていると思われる。
- 質問(25)では、将来の夢を「もっている」と回答した小5は 78.4%であるが、「もっている」と回答した中2は 49.9%で、「どちらかといえばもっている」と回答した生徒と合わせても小学生の「もっている」と回答した児童の割合に及ばない。漠然と「将来なりたいもの」という夢をもっている小学生に対し、中学生は少し現実的に将来を考えることができるようになるためではないかと考えられる。
- 質問(30)では、人の役に立つ人間になりたいと「思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した小5は 96.2%、中2は 94.1%と小中の差はほとんど見られない。また、「そう思う」と回答した児童生徒の平均正答率は「そう思わない」と回答した児童生徒に比べ、約 15 ポイント高くなっている。

提言

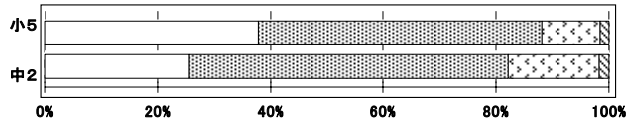
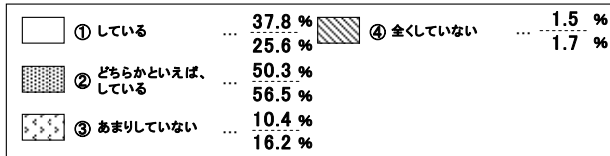
- ・学校生活の中で、児童生徒一人ひとりが活躍できる場をつくり、お互いが認め合う中で自分のよさに気づき、自信をもって行動できるようにしていくことが大切である。
- ・成功体験を味わわせることも大切であるが、それまでの過程の頑張りや取組のよさを見取り、称賛することで、集団の中での自己有用感をもたせるようにすることが大切である。

規範意識等

質問別回答結果

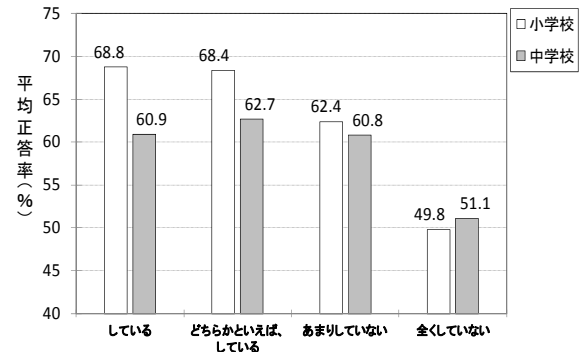
(26) 人が困っているときは、進んで助けていますか。

上段：小5
下段：中2



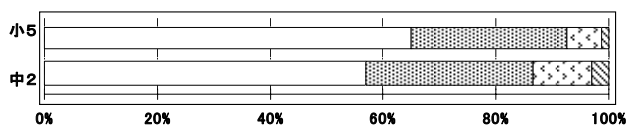
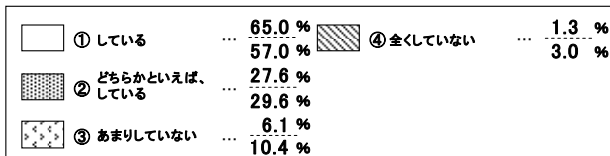
教科に関する調査とのクロス集計結果

(26) 人が困っているときは、進んで助けていますか。

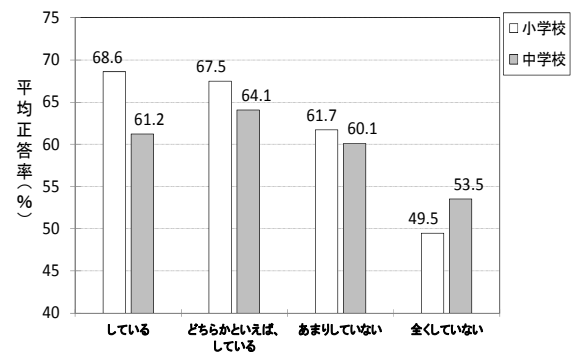


(27) 近所の人に出会ったときは、あいさつをしていますか。

上段：小5
下段：中2

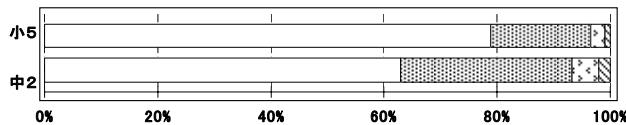
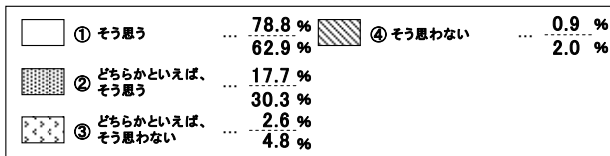


(27) 近所の人に出会ったときは、あいさつをしていますか。

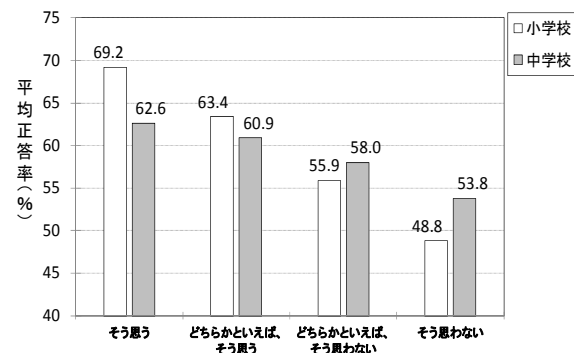


(29) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

上段：小5
下段：中2

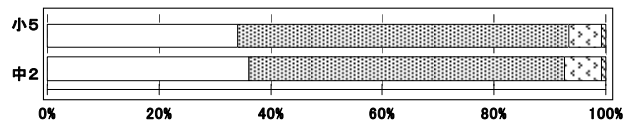
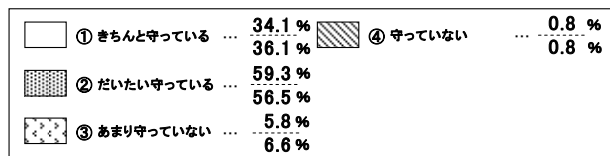


(29) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

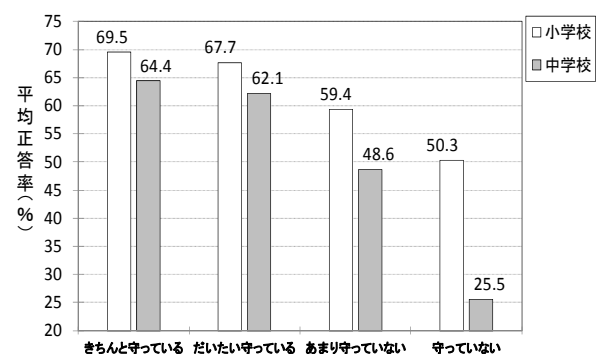


(32) 学校の規則(きまり)を守っていますか。

上段：小5
下段：中2



(32) 学校の規則(きまり)を守っていますか。

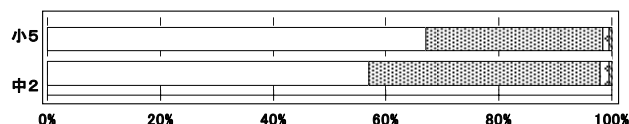
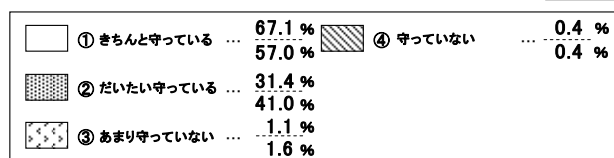


規範意識等

質問別回答結果

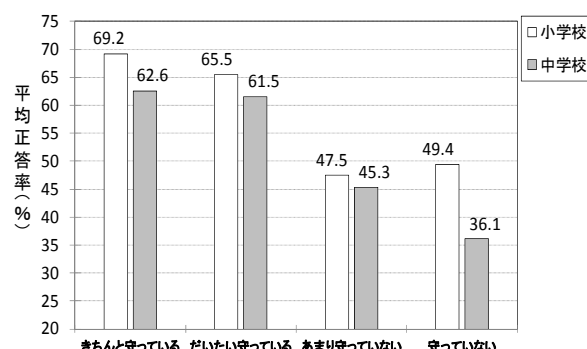
(33) 友達との約束を守っていますか。

上段: 小5
下段: 中2



教科に関する調査とのクロス集計結果

(33) 友達との約束を守っていますか。



分析と考察

- 質問 (26) では、人が困っているときに進んで助けることについて、小5で 88.1%、中2で 82.1%が「している」「どちらかといえば、している」と回答しており、80%以上の児童生徒が、人が困っているときには進んで助けていると回答している。また、「全くしていない」と回答した児童生徒の平均正答率は、小5で 49.8%、中2で 51.1%であり、人が困っていても助けていないと回答した児童生徒の平均正答率は、他の回答をした児童生徒の平均正答率と比べて約 10 ポイント低い。
- 質問 (29) では、いじめは、どんな理由があってもいけないと思うことについて、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答したのは、小5で 96.5%、中2で 93.2%といずれも 90%を超えている。しかし、「そう思う」と回答しているのは小5が 78.8%、中2が 62.9%であり、中2は小5よりも 15.9 ポイント低くなっている。
- 質問 (32) では、小5と中2ともに、90%以上の児童生徒が、学校の規則を「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答している。教科に関する調査とのクロス集計結果を見ると、「守っていない」と回答した児童生徒の平均正答率がともに低く、特に、中2では、「守っていない」と回答した生徒の平均正答率は 25.5%と、「きちんと守っている」と回答した生徒と比べて、約 40 ポイント低くなっている。
- 質問 (33) では、友達との約束を守ることについて、「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した児童生徒は、小5で 98.5%、中2で 98.0%である。これは、質問 (32) における学校の規則を「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した児童生徒の割合を上回っている。

提言

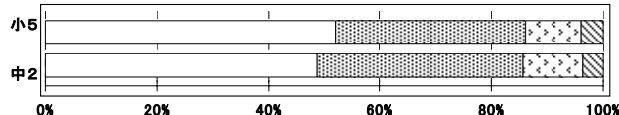
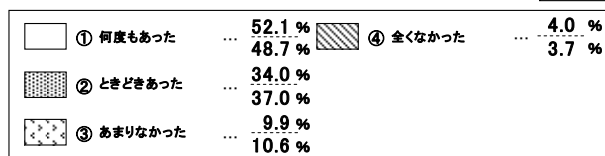
- ・ 道徳教育の充実を図るとともに、友人や家族、地域の人々など、様々な人とかかわり合う機会を多く設けることで、他者を理解し思いやる気持ちを育むことが大切である。
- ・ 教職員が一丸となって指導に当たるとともに、児童会活動や生徒会活動の充実を図り、児童生徒自身が互いに声を掛け合いながら、学校の規則を守ろうとする態度を育てていくことが大切である。

体験活動

質問別回答結果

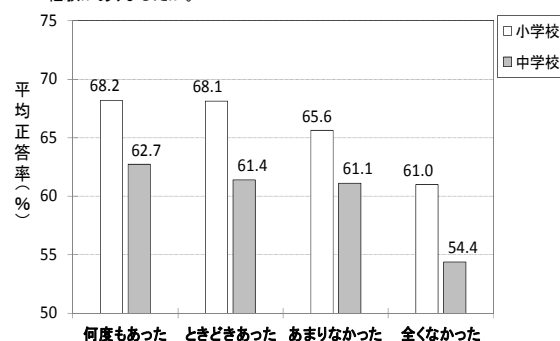
(43) 小学校に入学してからこれまで、学校以外で海、山、湖、川などで遊んだ経験がありましたか。

上段：小5
下段：中2



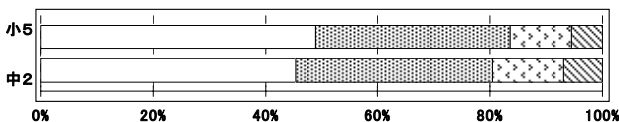
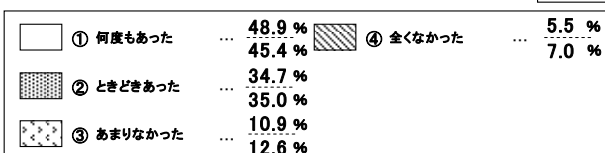
教科に関する調査とのクロス集計結果

(43) 小学校に入学してからこれまで、学校以外で海、山、湖、川などで遊んだ経験がありましたか。

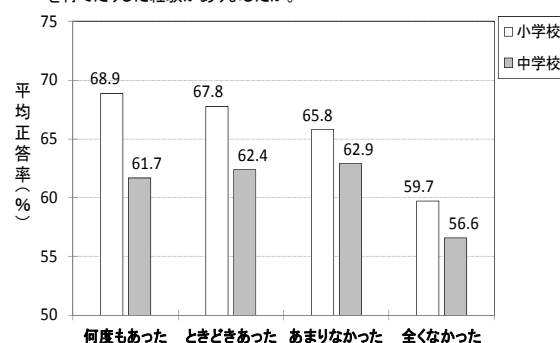


(44) 小学校に入学してからこれまで、学校以外で動物を飼育したり、花や野菜を育てたりした経験がありましたか。

上段：小5
下段：中2



(44) 小学校に入学してからこれまで、学校以外で動物を飼育したり、花や野菜を育てたりした経験がありましたか。



分析と考察

- 質問 (43) では、学校以外で海、山、湖、川などで遊んだ経験について、「何度もあった」と回答したのは、小5で 52.1%、中2で 48.7%である。「全くなかった」と回答しているのは、小5で 4.0%、中2で 3.7%である。教科に関する調査とのクロス集計結果を見ると、小5と中2ともに、回答類型別に平均正答率の差をとると3ポイント未満であるが、「全くなかった」と回答した児童生徒は、他の回答をした児童生徒の平均正答率より低くなっている。特に、中2で「全くなかった」と回答した生徒の平均正答率が他と比べて約7ポイント低くなっている。
- 質問 (44) で、学校以外で動物を飼育したり、花や野菜を育てたりした経験が「何度もあった」「ときどきあった」と回答しているのは、小5で 83.6%、中2で 80.4%である。「あまりなかった」「全くなかった」と回答しているのは、小5で 16.4%、中2で 19.6%である。

提言

- ・各教科や総合的な学習の時間、特別活動などでの体験活動を重視し、児童生徒が自ら考え、活動していくことのできる授業の実践に取り組んでいくことが大切である。
- ・学校で行った活動が、学校以外でも生かされるように、児童生徒が様々な体験をすることのできる機会を増やせるように家庭や地域社会と連携していくことが大切である。

2 質問間におけるクロス集計結果の分析

質問間におけるクロス集計結果	分析と考察																														
(27) 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。 × (30) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 <table><thead><tr><th></th><th>■ そう思う</th><th>■ どちらかといえば、 そう思う</th><th>■ どちらかといえば、 そう思わない</th><th>■ そう思わない</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>している</td><td>78.7</td><td>18.4</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr><tr><td>どちらかといえば、 している</td><td>62.8</td><td>32.3</td><td>4.1</td><td>0.9</td><td>0.9</td></tr><tr><td>あまりしていない</td><td>55.4</td><td>33.0</td><td>9.5</td><td>2.1</td><td>2.1</td></tr><tr><td>全くしていない</td><td>34.5</td><td>26.1</td><td>21.0</td><td>18.5</td><td></td></tr></tbody></table>		■ そう思う	■ どちらかといえば、 そう思う	■ どちらかといえば、 そう思わない	■ そう思わない		している	78.7	18.4	2.0	1.0	1.0	どちらかといえば、 している	62.8	32.3	4.1	0.9	0.9	あまりしていない	55.4	33.0	9.5	2.1	2.1	全くしていない	34.5	26.1	21.0	18.5		質問（27）と質問（30）とのクロス集計結果を見ると、近所の人に会ったときあいさつをすることについて、「している」と回答した児童生徒の 78.7%が、人の役に立つ人間になりたいと思うことについて、「そう思う」と回答しており、「そう思わない」と回答したのは 1.0%であった。 また、あいさつを「全くしていない」と回答した児童生徒では、「そう思う」と回答したのは、34.5%であり、「そう思わない」と回答したのは 18.5%であった。
	■ そう思う	■ どちらかといえば、 そう思う	■ どちらかといえば、 そう思わない	■ そう思わない																											
している	78.7	18.4	2.0	1.0	1.0																										
どちらかといえば、 している	62.8	32.3	4.1	0.9	0.9																										
あまりしていない	55.4	33.0	9.5	2.1	2.1																										
全くしていない	34.5	26.1	21.0	18.5																											
(30) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 × (34) 学校で好きな授業がありますか。 <table><thead><tr><th></th><th>■ ある</th><th>■ どちらかといえば、 ある</th><th>■ どちらかといえば、 ない</th><th>■ ない</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>そう思う</td><td>80.9</td><td>13.9</td><td>3.2</td><td>2.1</td><td>2.1</td></tr><tr><td>どちらかといえば、 そう思う</td><td>67.2</td><td>23.8</td><td>4.8</td><td>4.3</td><td>4.3</td></tr><tr><td>どちらかといえば、 そう思わない</td><td>51.3</td><td>22.1</td><td>13.0</td><td>13.6</td><td></td></tr><tr><td>そう思わない</td><td>45.5</td><td>6.1</td><td>12.1</td><td>36.4</td><td></td></tr></tbody></table>		■ ある	■ どちらかといえば、 ある	■ どちらかといえば、 ない	■ ない		そう思う	80.9	13.9	3.2	2.1	2.1	どちらかといえば、 そう思う	67.2	23.8	4.8	4.3	4.3	どちらかといえば、 そう思わない	51.3	22.1	13.0	13.6		そう思わない	45.5	6.1	12.1	36.4		質問（30）と質問（34）とのクロス集計結果を見ると、人の役に立つ人間になりたいと思うことについて、「そう思う」と回答した児童生徒の 80.9%が、学校で好きな授業が「ある」と回答しており、「ない」と回答したのは 2.1%であった。 また、人の役に立つ人間になりたいと思うことについて、「そうは思わない」と回答した児童生徒の 45.5%が学校で好きな授業が「ある」と回答しており、「ない」と回答したのは 36.4%であった。
	■ ある	■ どちらかといえば、 ある	■ どちらかといえば、 ない	■ ない																											
そう思う	80.9	13.9	3.2	2.1	2.1																										
どちらかといえば、 そう思う	67.2	23.8	4.8	4.3	4.3																										
どちらかといえば、 そう思わない	51.3	22.1	13.0	13.6																											
そう思わない	45.5	6.1	12.1	36.4																											
(33) 友達との約束を守っていますか。 × (27) 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。 <table><thead><tr><th></th><th>■ している</th><th>■ どちらかといえば、 している</th><th>■ あまりしていない</th><th>■ 全くしていない</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>している</td><td>67.1</td><td>25.1</td><td>6.4</td><td>1.5</td><td>1.5</td></tr><tr><td>どちらかといえば、 している</td><td>50.7</td><td>35.9</td><td>10.8</td><td>2.8</td><td>2.8</td></tr><tr><td>あまりしていない</td><td>35.3</td><td>37.5</td><td>16.7</td><td>10.6</td><td></td></tr><tr><td>全くしていない</td><td>28.6</td><td>25.0</td><td>10.7</td><td>35.8</td><td></td></tr></tbody></table>		■ している	■ どちらかといえば、 している	■ あまりしていない	■ 全くしていない		している	67.1	25.1	6.4	1.5	1.5	どちらかといえば、 している	50.7	35.9	10.8	2.8	2.8	あまりしていない	35.3	37.5	16.7	10.6		全くしていない	28.6	25.0	10.7	35.8		質問（33）と質問（27）とのクロス集計結果を見ると、友達との約束を守っていることについて、友達との約束を守っていない児童生徒ほどあいさつを「している」と回答した割合が低くなっている。 また、友達との約束を守っていることについて、「全くしていない」と回答した児童生徒は、あいさつを「全くしない」と回答した割合が高くなっている。
	■ している	■ どちらかといえば、 している	■ あまりしていない	■ 全くしていない																											
している	67.1	25.1	6.4	1.5	1.5																										
どちらかといえば、 している	50.7	35.9	10.8	2.8	2.8																										
あまりしていない	35.3	37.5	16.7	10.6																											
全くしていない	28.6	25.0	10.7	35.8																											